

インマヌエル中目黒キリスト教会

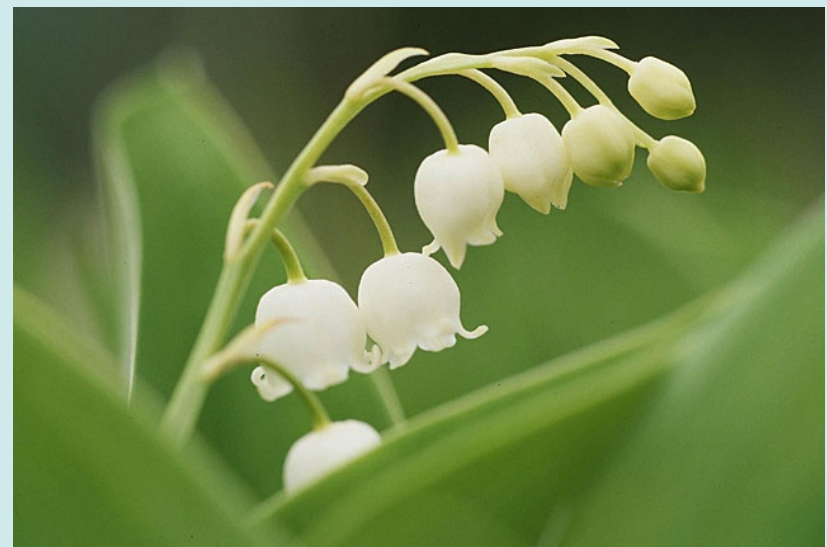
2012年6月10日 聖日礼拝

エペソ書連講⑬

「一番小さな私に」

エペソ人への手紙
3章1-13節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

エペソ人への手紙3章1-13節

- 1 こういうわけで、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となった私パウロが言います。
- 2 あなたがたのためにと私がいただいた、神の恵みによる私の務めについて、あなたがたはすでに聞いたことでしょう。
- 3 先に簡単に書いたとおり、この奥義は、啓示によって私に知らされたのです。

4 それを読めば、私がキリストの奥義をどう理解しているかがよくわかるはずです。

5 この奥義は、今は、御霊によって、キリストの聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されていますが、前の時代には、今と同じようには人々に知らされていませんでした。

6 その奥義とは、福音により、キリスト・イエスにあって、異邦人もまた共同の相続者となり、ともに一つのからだに連なり、ともに約束にあずかる者となるということです。

7 私は、神の力の働きにより、自分に与えられた神の恵みの賜物によって、この福音に仕える者とされました。

- 8 すべての聖徒たちのうちで一番
小さな私に、この恵みが与えられた
のは、私がキリストの測りがたい富
を異邦人に宣べ伝え、

- 9 また、万物を創造した神のうちに
世々隠されていた奥義の実現が何
であるかを、明らかにするためです。

10 これは、今、天にある支配と権威と
に対して、教会を通して、神の豊かな
知恵が示されるためであって、

11 私たちの主キリスト・イエスに
おいて成し遂げられた神の永遠の
ご計画によることです。

12 私たちはこのキリストにあり、
キリストを信じる信仰によって大胆に
確信をもって神に近づくことができる
のです。

13 ですから、私があなたがたのため
に受けている苦難のゆえに落胆する
ことのないようお願いします。私の受
けている苦しみは、そのまま、あなた
がたの光栄なのです。

説教

エペソ書連講⑬

「一番小さな私に」

エペソ人への手紙

3章1-13節

竿代照夫 牧師



主テキスト：

「すべての聖徒たちのうちで一番
小さな私に、この恵みが与えられた
のは、私がキリストの測りがたい富を
異邦人に宣べ伝え、また、万物を
創造した神のうちに世々隠されていた
奥義の実現が何であるかを、
明らかにするためです。」

(エペソ 3 : 8 - 9)

1. 「異邦人のための囚人」 (1節)

[前回の復習]

- パウロは、ことさら異邦人伝道に力を入れた
- それは、福音の普遍性、恵みによる救いという神学的確信に基づく
- 異邦人伝道のゆえに囚人となった

2. 自分は神の恵みのサンプル

(8-9節)

- ・ 自分の小ささ：
「最小の聖徒よりも小さい」
- * 「使徒の中で最も小さい」
(1コリント 15 : 9)
- * 「罪人のかしら」
(1テモテ 1 : 15)
- * 「不従順の中に閉じ込められている
私たち」 (ローマ 11 : 32)

- 小さい自分に豊かな富が
与えられている
- その恵みを伝えることが天職

3. そのような召しは神のご計画に沿う (10 - 11節)

- ・ 開示されたミステリーが天使たち
に知られる

* そのミステリーは神の永遠のご計画

* ミステリーとは、宇宙的和解
(1 : 7 - 12)

- 神の豊かな（多彩な）知恵が示される

- それは教会を通して示される

（ 1 : 2 3 ）

4. 今の苦難は光栄に通じる

(12-13節)

- ・ 私たちは贖いのゆえに大胆に神に
近づくことができる
- ・パウロの苦難のゆえに落胆しないで
欲しい

おわりに

- ・ 自分の小ささを自覚しよう

- ・ 恵みの大きさを感謝しよう

(イザヤ 43 : 4)